

令和 6 年 度

事 業 報 告 書

学校法人 大阪明星学園
明星高等学校・中学校

I. 法人の概要

1. 法人の概要 (2025年 6月 1日 現在)

- ・学 校 法 人 名 : 学校法人 大阪明星学園
- ・理 事 長 名 : 理事長 馬 込 新 吉
- ・前 身 学 校 設 立 年 月 : 1898 年 9 月
- ・法 人 設 立 認 可 年 月 : 1951 年 3 月
- ・法 人 所 在 地 : 〒543-0016 大阪府大阪市天王寺区餌差町5番44号
- ・設 置 する 学 校 ・学 科 :

学校名	明 星 高 等 学 校	明 星 中 学 校
校 長 名	野 中 豊 彦	野 中 豊 彦
学 科	全 日 制 課 程 / 普 通 科	
所 在 地	〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5番44号	〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5番44号
設立年月日	1948年 4月 1日	1947年 4月 1日
学則定員	1,290 名	810 名
入学定員	1,120 名	690 名
募集人員	2024年度3ヵ年募集 120 名	2024年度募集 220 名
生徒数	5/1現在	820 名
		737 名
		1,557名

2. 役員・教職員の概要

役 員 :

	理 事	監 事	評 議 員
定員	5	2	6
現員	5	2	6

教 職 員 :

		専 任	常 勤	非 常 勤	計
教 員 (*1)(*2)	高等学校	51	10	20	81
		49	14	13	76
	中 学 校	35	5	14	54
		35	11	9	55
	計	86	15	34	135
		84	25	22	131
職 員 (*3)	高等学校	6		1	7
		6		3	9
	中 学 校	4		1	5
		4		2	6
	計	10		2	12
		10		5	15
		96	15	36	147
		94	25	27	146

上段は2025年4月現在、下段は2024年4月現在

*1 養護教諭 2名(専任 高校・中学各1名)、司書教諭 2名(専任 高校1名・常勤 中学1名)を含む

*2 ネイティブ外国人講師3名を含む *3 カウンセラー 2名(非常勤)含む

3. 法人の沿革

1817年	10月	ギヨーム・ヨゼフ・シャミナード師によってフランスのボルドーにマリア会を創立
1887年	12月	マリア会本部から日本に2名を派遣
1888年	8月	東京に暁星学校(現在の暁星学園)を設立
1892年	1月	長崎に海星学校(現在の海星学園)を設立
1898年	7月	ジョセフ・ウォルフ先生が日本マリア会ヘンリック師より学校設立の命をうけ大阪派遣
	9月	現大阪市西区江戸堀に建物を整備し「明星学校」と名付け、夜間外国語学校を開校 学校長 ジョセフ・ウォルフ先生就任(生徒数 13名)
1900年	12月	文部省から明星商業学校の設立認可
1904年	3月	現在の真田山に移転
1947年	4月	学制改正により明星中学校(新制)が設立
1948年	4月	学制改正により明星高等学校(新制)が設立
	11月	創立50周年記念式典挙行
1951年	3月	私立学校法制定により「学校法人 大阪明星学園」発足
1960年	6月	信貴山校外学舎(奈良県生駒郡三郷町)着工
1973年	6月	伊那校外学舎(長野県伊那市)用地購入
1998年	11月	創立100周年記念式典挙行
2000年	9月	シャミナード師、「福者」の称号

Ⅱ. 事業の概要

2024年度は管理棟5階の会議室3室を生徒用施設の自習室にコンバージョンし、「LEARNING CENTER」とした。
現役大学生・大学院生チューターを配置し、朝7:00から20:00まで生徒が自習、質問、進路相談ができる体制を整備。
「日本一自習する学校」を合言葉に生徒への積極的な活用を促し、自習室の利用者が大幅に増加された。

4月に「学校改革委員会」を組織し、年間を通して学校改革への作業を行った。
これを受けて2025年度からは新たな探究学習を開始する予定。

部活動では、専門性及び教員の働き方改革の観点から外部コーチ制度を導入。水泳部と中学サッカー部がこの制度を利用。

グローバル教育としては、2023年に引き続き、6つの留学プログラムを展開。

体育大会ではコロナ禍で自粛していたにアーチ作製が5年振りに復活。

11月には生徒運営によるマンドリンコンサートを実施。世界的に著名なマンドリン奏者を招いてのコンサートは内外に好評で
担当した生徒達の成長にも繋がった。

地域貢献、地域連携を目的として、小中学生対象のバスケットボール教室を週1回のペースで開催した。

2024年度の主な行事についての実施状況は次のとおりである。

実施日			行 事 名	実 施 状 況
月	日	曜日		
4	4	木	入学式	中学・高校に分けて実施
5	26 └ 28	日 火	中学1年 オリエンテーション合宿	岐阜、愛知、2泊3日で実施
6 7	29 └ 3	土 水	高校Ⅱ年北海道 研修旅行	4泊5日 / 2班に分かれて実施
9	21	土	学園祭	来場者数 約5,000名 出店への支払いにPayPay導入
9	25 26	水 木	中学体育大会 高校体育大会	中学・高校に分けて実施 高校体育大会では5年ぶりにアーチが復活
10	18 └ 22	金 火	中学2年 研修旅行	3泊4日 / 2班に分かれて実施
2	28	金	高等学校 卒業式	
3	18	火	中学校 卒業式	
行 事 名			実 施 状 況	
球技大会			4月 高校実施 5月 中学実施 9月 中学・高校実施	
慰霊祭			11月1日(金)	
人権講演会			7月17日(水) 「ルワンダの教育を考える会」マリールイズ氏(高校Ⅱ年対象)	
マンドリンコンサート			11月17日(日) マリアンホールにて実施	
クリスマスの集い			12月24日(月) 実施、ミサはマリアンホールにて実施	
ウォークラリー			3月7日(金) 実施	

Ⅲ. 財 務 の 概 要

1. 主要な経営指標等の推移

事業活動収支計算書 推移					
単位:百万円					
決算期	2021年3月 2020年度	2022年3月 2021年度	2023年/3月 2022年度	2024年/3月 2023年度	2025年/3月 2024年度
教育活動収入	1,939	1,845	1,851	1,804	1,749
学生生徒等納付金	1,126	1,110	1,083	1,070	948
補助金	583	592	580	563	653
教育活動支出	2,009	1,990	2,066	2,011	1,952
人件費	1,527	1,541	1,584	1,550	1,477
内退職金	44	68	96	84	43
教育研究経費	482	449	451	430	446
奨学費	15	21	21	19	14
減価償却費	154	158	159	151	153
教育活動収支差額	▲ 70	▲ 145	▲ 215	▲ 207	▲ 203
減価償却前	84	13	▲ 56	▲ 47	▲ 48
教育活動外収支差額	55	64	93	78	64
受取配当金	51	60	89	74	60
事業活動収支収支差額	▲ 15	▲ 81	▲ 122	▲ 128	▲ 139
減価償却前	139	77	36	32	16
総資産	6,324	6,254	6,099	6,095	5,791
純資産	5,499	5,423	5,301	5,171	5,042
現預金及び特定資産	3,069	3,134	3,043	3,040	2,784
現預金	967	1,032	826	831	560
特定資産	2,102	2,102	2,217	2,209	2,224
生徒数(年度初)	1,738	1,683	1,644	1,597	1,537
教員数(年度初)	134	133	133	137	131

2. 経営成績、財政状況及びキャッシュフローの現状分析

(1)経営成績

少子化の影響から生徒数が減少しており、2024年度は1,537名でスタートいたしました。
結果として償却前事業活動収支は16百万円となっております。

学生生徒納付金(授業料)については、高校無償化に伴う授業料の減額が影響しております。
減額分については国・大阪府からの補助金収入によりカバーされており、授業料と経常費補助金の推移は別記の通りとなります。

進行期である2025年度は中学で入学者が増加した結果1,557名となり、2024年度比プラス20名と6年振りに増加でのスタートが出来ました。引き続き生徒確保を図るべく教職員一丸での学校運営を推進して参ります。

授業料 + 経常補助金 推移

単位:百万円

決算期		2021年3月 2020年度	2022年3月 2021年度	2023年/3月 2022年度	2024年/3月 2023年度	2025年/3月 2024年度
	授業料収入	1,088	1,099	1,073	1,043	1,004
	授業料軽減対象額	▲ 83	▲ 100	▲ 95	▲ 81	▲ 158
	経常費補助金	494	487	481	474	475
	授業料軽減補助金	82	100	100	81	157
	合計	1,580	1,585	1,559	1,517	1,479

(2)財政状態

総資産は2023年度末に比べ▲304百万円減少し、5,791百万円となりました。
 現預金は▲271百万円減少しておりますが、2023年度決算期日が休日であり、2023年度退職金134百万円の支払いが2024年度となったことによるものです。2024年度単体での減少分は▲99百万円となります。

特定資産は15百万円増加し、2,224百万円となっております。

現預金及び特定資産合計は前年比▲256百万円、残高は2,784百万円となっております。

〔特定資産について〕

特定資産2, 224百万円の内の仕組債1,663百万円について350百万円が早期償還されました。前年2023年度にも400百万円が早期償還されており、この待機資金750百万円について、金利上昇など外部環境を踏まえ700百万円を高格付であるメガバンク等の劣後債にて再運用をいたしました。新規購入の債券は期間3～5年で早期償還の見込みであり、無難な運用となっております。

(3)キャッシュフロー

2024年度の特定資産及び支払資金の残高は▲271百万減少し、2,784百万円となりました。
 2023年度の退職金支払が休日影響で2024年度となっているためであり、2024年度単体の実質収支は▲99百万円となります。
 実質単年度収支では、教育活動によるキャッシュフローにより▲71百万円減少、収益事業・財務活動によるキャッシュフローにより88百万円増加、設備投資活動によるキャッシュフローにより▲115百万円減少しております。

単位:百万円

前年度繰越支払資金				831	
	収入	支出	収支	前期未払金勘案	
				未払金	実質単年度収支
教育活動	1,743	1,953	▲ 211	140	▲ 71
退職金関連(教育活動)	(44)	(65)	(▲21)	(134)	(▲48)
収益事業他	28	0	28	0	28
財務活動	345	285	60	0	60
修学旅行	108	108	0	0	0
設備投資	18	166	▲ 148	33	▲ 115
合計	2,241	2,513	▲ 271	173	▲ 99
翌年度繰越支払資金				560	

	2023年度末残高	2024年3度末残高	増減
特定資産	2,209	2,224	15
特定資産残高及び支払資金	3,040	2,784	▲ 256

3. 設備の状況、今後の設備計画等

単位:百万円

	土地		建物	
	面積(㎡)	金額	取得金額	簿価
聖堂	27,082	217	261	2,213
東館			964	
北館			800	
南館			661	
管理棟			546	
マリアンホール			1,323	
体育館			270	
駐車場3カ所	809	3	-	-
信貴山	26,349	25	30	4
伊那	43,392	137	52	0

〔2024年度の主な設備投資実績〕

単位:百万円

項 目	金 額	備 考
北館空調機改修工事	40	
第二体育館空調設置工事	17	補助金5百万円
プロジェクター更新	33	補助金13百万円
校内放送設備改修	15	
第一体育館補強床工事	10	
学校改革費用	9	
LL教室(英会話教室)改修費用	7	
食堂厨房排気ファン更新・グレーチング更新工事	5	
剣道場床工事	2	
PC更新 他	10	
計	147	

〔2025年の主な設備投資計画〕

単位:百万円

項 目	金 額	備 考
マリアンホール・剣道場吊り天井工事	77	補助金活用予定
第一体育館空調機設置工事・小窓工事	18	補助金活用予定
中庭防水工事/改装工事	37	
学校改革費用/校長・副校長用予算	12	
バスケットゴール更新	10	補助金活用予定
追加PC/Windows10サポート切れ	5	
照明器具LED取替	26	
キュービクル更新工事	25	
食堂空調 室外機更新	20	
貯水槽関係補修工事	6	
エアコンオーバーホール(講堂、聖堂)	6	
空調機メンテナンス費	5	
教職員研修費用	4	
計	174	

[2026年度以降の主な設備投資計画]

単位:百万円

項 目	金 額	備 考
外壁工事	300	
グラウンド人工芝化	200	
食堂空調設置工事	20	改修との兼合い
食堂改修工事	40	50年経過
第一体育館改修工事	40	50年経過
校舎廊下長尺シート改修工事	240	
EV更新工事 @30M×4基・教師用PC端末更新 150台 他	27	
計	867	

以上